◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.379　（2023年度No.7）**　 　2023/2/17

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆白い花が咲いている

自動的に生成された説明

日枝神社の白梅

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2-6** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **6-10** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **10-13** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **13-15** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **15-17** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **17-29** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

2月10日　　かわら版378号・かわら版ニュース＆トピックス309号を発行

2月14日　　かわら版ニュース＆トピックス310号を発行

2月17日　　かわら版379号・かわら版ニュース＆トピックス311号を発行

**研修等のご案内**

**フード･フォラム・つくば「春の例会」「フードセーフティ分科会」**

**講演会のお知らせ**

**現場における衛生管理と運用のための考え方**

日時： 2023年3月6日（月）13:15～１6:50

場所： フクラシア八重洲（東京都中央区八重洲2-4-1名

　　　 住友不動産八重洲ビル（旧ユニゾ八重洲ビル）3階）

参加費： 会員：無料　/　会員外：5,000円 定員64名

　　　　※協賛後援等団体の会員の参加費は無料です。

PDF ポスター

<https://www.fft.gr.jp/page/topics/20230306/poster.pdf>

お申込みフォームはこちら

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe219DK37jXcZhMe8etn-gbWeEIGNHAP1faz1mnP622faJUrA/viewform>

（応募締め切り：2023年2月27日（金））

■プログラム

12:30- 受付開始

13:15-13:25 挨拶

（フード・フォラム・つくば幹事長　間 和彦氏）

13:25-13:35 講演会のねらい

（フード セーフティ分科会幹事　立石 亘氏・川﨑 晋氏）

13:35-14:35 『 飛騨牛ブランドの海外輸出と食肉センターの衛生管理について 』

　小林 光士氏

（飛騨ミート農業協同組合連合会　代表理事専務）

「産地一体で取り組む飛騨牛ブランドの輸出」を事例に、現在牛肉輸出 に直面している課題、および食肉センターに義務化されたCodex「食品衛生の一般原則」による衛生管理の基本的な考え方と、より正確なHACCPの構築について紹介する。

14:35-14:45 休憩

14:45-15:45 『 Listeria monocytogenesに着目した製造環境の衛生管理 』

　 下島 優香子氏

（相模女子大学栄養科学部管理栄養学科　准教授）

*Listeria monocytogenes*は食品製造環境に定着し、食品製品を二次汚 染します。本菌を対象とした環境モニタリングは、本菌による危害防止および一般的衛生管理の確認に有効です。今回は実例を紹介しながら解説します。

15:45-15:55 休憩

15:55-16:40 総合討論

16:40-16:50 閉会の挨拶

（農研機構食品研究部門　所長　亀山 眞由美氏）

■お問い合わせ

フード・フォラム・つくば事務局萩原・塚田（E-mail：[office@fft.gr.jp](mailto:office@fft.gr.jp)　）

TEL：029-838-8010、FAX：029-838-8005

**HACCP制度化への対応は自主的な衛生検査から！**

**様々なメーカーのATP検査キットやタンパク検出キット、簡易培地、アレルゲン検査キット、**

**携帯形微生物観察器を実習で体験してみませんか？**

**開催日程が決定いたしました‼　受講申込受付中!!**

**第9回 HACCP導入へ向けた迅速検査実習**

主催　　迅速検査研究会

（ATP・迅速検査研究会は2022年11月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**当研究会の川崎晋会長による自主衛生管理をテーマとした講義、当会理事によるATPふき取り検査や簡易培地に関する講義の他、実際にATPふき取り検査などの操作や、簡易培地の観察などを体験していただきます。**

**また、皆様の日頃のお悩みにお応えするディスカッションの場も設けます。**

HACCP制度化の動きもあるので、

それに対応して自主検査の充実を図りたい！　**でも……。**

「微生物検査を実施しているが、今後は簡易・迅速に

検査ができる培地の導入も検討している」

「簡易・迅速検査で悩みや再確認したいことがあるけど、

社内で相談できる相手がいない」

「ATPふき取り検査の正しい使い方を知りたい」

「アレルゲン検査を始めたいけど、何から始めれば……？」

**そんなお悩みをお持ちの検査担当者・品質管理担当者様へ、**

**座学と実習をご提供します！**

**迅速検査を未経験の方も大歓迎！**



**■開 催 日 時：**

**2023年3月1日（水）9時55分～17時20分 予定**

**受付開始　9時30分～**

※新型コロナウイルス感染症の状況によって中止・延期となる可能性がございます。予めご了承ください。

**■会　　　場：一般財団法人東京顕微鏡院・豊海研究所（東京都中央区豊海町5-1）**

**■定　　　員：16名**

※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

※申込多数の場合は、企業・団体の検査担当者の方を優先させて頂く場合があります。

※大学・専門学校の学生の方もお申し込みも可能です。

※感染防止対策としてマスク着用、手指消毒、体温測定などにご協力をお願いします。

**■受　講　費：賛助会員・法人会員8,000円、一般10,000円**

**（テキスト代・白衣・シューズカバー代込み）**

※テキストとして当会15周年記念誌「現場のためのATPふき取り検査マニュアル」を配布します。

※受講者には修了証を発行いたします。

※公定法などの一般的な食品微生物検査の技術を習得する実習ではありません。

**主な内容 （予定）**

|  |
| --- |
| 【講義】HACCPにおける自主検査の位置づけ、簡易・迅速検査の役割など  【講義・実習】手洗い講習  ※実習では、手洗いチェッカーを用いた手洗い効果の確認を体験していただきます。  【講義・実習】ATP ふき取り検査、タンパクふき取り検査、アレルゲン検査、微生物培地の基礎、など  ※実習では、ATP ふき取り検査とタンパク質検出キット、アレルゲン検査キット、携帯形微生物観察器の操作を体験していただきます。  また、簡易・迅速培地で培養した一般生菌、大腸菌・大腸菌群などの観察を体験していただきます。  【質疑応答】事前に受け付けたご質問や、研修会を通じてのご質問などにご回答いたします。 |

**〔検査資材・試薬提供（予定）〕**

|  |  |
| --- | --- |
| **★微生物検査培地** | アヅマックス、栄研化学、エルメックス、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、  日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★ATPふき取り検査** | エア・ブラウン、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★タンパク／アレルゲン検査** | アヅマックス、エア・ブラウン、ネオジェン ジャパン、日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★携帯形微生物観察器** | mil-kin |
| **★手洗いチェッカー** | 東京サラヤ |

参加者からは「色々なキットを体験できてわかりやすかった」「講義も実習も今後の参考になると思う」「これまで現場で使っていたが、疑問点が解消できた」「これから迅速検査を導入するので、社内で情報共有したい」など、迅速検査の初心者から熟練者まで、幅広い層に好評なイベントです

**申込み方法**

**下記の6項目を明記の上、下記へE メールにてお申込みください。**

**1．所属・役職、2．住所、3．氏名（ふりがな）、 4．E - mail、5．電話番号、6．会員or一般**

※当会の賛助会員・法人会員企業と機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります。

Ｅメール： [info@ATP-jinsokukensa.com](mailto:info@ATP-jinsokukensa.com)

**↓ウェブサイトからお申込みいただけます。　**<https://onl.bz/btmdNs6>

**↓QRコードからもお申込みいただけます。**

講義の後、様々な検査キットを体験して頂きます。

沢山の検査キットが一堂に会する、この機会をお見逃しなく！



**お問い合わせ**

迅速検査研究会（ATP・迅速検査研究会） 事務局担当：立石（たていし） ＴＥＬ：０９０－２９０７－５４５６

**個人情報保護／**お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、ご本人様の承諾を得ることなく、ATP・迅速検査研究会以外の目的で第三者に提供、開示することはありません。

**利用目的／**お預かりした個人情報は、ご入会・ご継続時の申込管理、ATP・迅速検査研究会のセミナー・勉強会のご紹介、及びこれらに関する各種イベント等のご案内に使用させて頂く場合がございます。

迅速検査研究会 （ATP・迅速検査研究会）第47回講演会「迅速検査の今日的意義」ご案内

迅速検査研究会　会長　川﨑 晋

迅速検査研究会は2023年2月15日（水）、東京の月島社会教育会館で第47回講演会「迅速検査の今日的意義」を開催します。ふるってご参加ください。(現地参加＆オンライン配信)

（ATP・迅速検査研究会は 2022 年 11 月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**プログラム（予定）**　2023年2月15日（水）（開場12：00～、開演13：00～）

|  |  |
| --- | --- |
| 12：00～13：00 | **受付**※受付スタッフにお名刺を 1 枚お渡しください。  会場ロビーにおいて、迅速検査関連の資材の展示を行っております。 |
| 13：00～13：10  （10分） | **【主催者あいさつ】 研究会の名称変更と簡便・迅速検査今後の展望**  迅速検査研究会 会長　**川﨑 晋**　先生  （国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）食品研究部門） |
| 13：10～14：00  （50分） | **【基調講演】 HACCPにおける自主衛生検査と環境検査**  迅速検査研究会 副会長　**森 哲也**　先生  （一般財団法人法人 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 微生物検査部） |
| 14：00～14：30  （30分） | **【講演】 県内食品企業の食品保存性向上を目的とした衛生管理および食品開発支援**  福岡県工業技術センター 生物食品研究所 食品課　**田﨑 麻理奈**　先生 |
| 14：30～14：45 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション①】** 日水製薬株式会社 |
| 14：45～15：05 | 休憩・展示　（会場ロビーにてATP・迅速検査の関連資材の展示を行っております） |
| 15：05～15：20 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション②】** ネオジェン ジャパン株式会社 |
| 15：20～16：10  （50分） | **【講演】 簡便・迅速検査を活用した医療施設における感染／衛生検査**  ワタキューセイモア株式会社 メデイカル営業本部 学術担当部長　**伏見 了**先生  （東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 客員准教授） |
| 16：10～17：00  （50分） | **【教育講演】食品リスクとの科学的な向き合い方**  **～食の信頼を確保するスマート・リスクコミュニケーション**  特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会（SFSS）理事長　**山崎 毅**先生 |
| 17：00～17：20 | **総合討論**（閉会後も会場ロビーにて関連資材の展示を行っています） |

※開演前、休憩時間、閉会後に簡便・迅速検査に関する展示を行っています。ごゆっくりご覧ください。

**【会場】** 月島社会教育会館 （〒104-0052 東京都中央区月島 4-1-1、月島区民センター）

**【定員】** 会場 100 名 ／ ウェブ（ ＺＯＯＭ ）視聴 100 名

**【受講費】** 賛助会員企業・法人会員企業 1,000 円、一般 3,000円 （※事前登録をお願いします）

**【お申し込み方法】**

以下の7項目を記入し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

1．所属・役職、2．住所、3．氏名、4．E-mail、 5．電話番号、 6．会場聴講／ウェブ聴講の別、

7．会員／非会員の別　（当会の賛助会員・法人会員、機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります）

**【申し込み・問い合わせ先】**[info@atp-jinsokukensa.com](mailto:info@atp-jinsokukensa.com)　 **【Google Formからもお申し込み頂けます】**<https://onl.bz/xyRMA6K>

**QRコードからもお申込みいただけます**

**【会場での感染対策について】**

会場内では新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防にご協力をお願いします。

・受付時の検温ならびに手指消毒にご協力ください。

・検温の結果、37.5℃以上の場合は、参加をご遠慮いただく場合があります。

・感染症の流行の状況によってオンライン配信のみになる場合があります。

**【会場アクセス】**

・地下鉄 月島駅 10 番出口（都営大江戸線、東京メトロ有楽町線）

・都バス 月島三丁目

・江戸バス（コミュニティバス） 月島区民センター

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★***Link***インフルエンザの発生状況**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html>

**★***Link***インフルエンザに関する報道発表資料 2022/2023シーズン**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00010.html>

**★***Link***インフルエンザ流行状況レベルマップ**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/tokuteisessyu_iryou_00003.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***輸入食品に対する検査命令の実施　（パキスタン産ごまの種子）　2023/2/10**

**アフラトキシン**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30908.html>

　　本日、以下のとおり輸入者に対して、食品衛生法第26条第３項に基づく検査命令（輸入届出ごとの全ロットに対する検査の義務づけ）を実施することとしたので、お知らせします。

テキスト が含まれている画像

自動的に生成された説明

**アフラトキシンについて**

　　発がん性を有するカビ毒（アスペルギルス属の真菌により産生される）の一種。

**違反の内容**

　　品名：ごまの種子

　　輸入者：兼松株式会社

　　輸出者：ASIAN COMMODITIES CORPORATION

　　届出数量及び重量：1,998 バッグ、99,787.20 kg

　　検査結果：アフラトキシン 16 μg/kg検出 (基準：含有してはならない)

　　届出先：横浜検疫所

　　日本への到着年月日：令和４年12月12日

　　違反確定日：令和５年２月８日

　　貨物の措置状況：全量保管中

参考：パキスタン産ごまの種子の輸入実績（令和３年４月１日から令和５年２月６日まで：速報値）

テーブル

自動的に生成された説明

**■疾病・障害認定審査会 (感染症・予防接種審査分科会新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査第二部会)　審議結果　2023/2/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30770.html>

　審議結果

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001056133.pdf>

**■2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針についての議論のとりまとめについて　2023/2/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31004.html>

　　今般、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会において「2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針について」がとりまとめられましたのでお知らせいたします。

2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針について【概要】

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001055081.pdf>

2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001055044.pdf>

2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針について＜参考資料＞

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001055045.pdf>

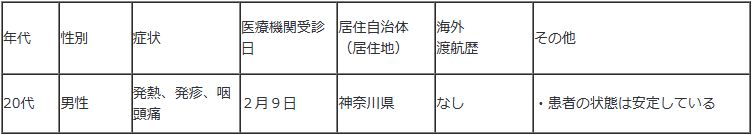
**■***NEW***サル痘の患者の発生について　2023/2/14**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31106.html>

　　発疹等の症状を示し、サル痘への罹患が疑われた男性１名に関して検査の結果、サル痘の患者と確認されたことが、本日、東京都から報告されました。

我が国では、サル痘は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）において、４類感染症に指定されており、届出義務の対象となっています。

患者に関する情報は、以下のとおりです。



**■サル痘の患者の発生について　2023/2/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30992.html>

　　発疹等の症状を示し、サル痘への罹患が疑われた男性１名に関して検査の結果、サル痘の患者と確認されたことが、本日、東京都から報告されました。

我が国では、サル痘は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）において、４類感染症に指定されており、届出義務の対象となっています。

患者に関する情報は、以下のとおりです。



**■「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（農薬等（アセキノシル等５品目）の残留基準の改正）に関する御意見の募集について　2023/3/6**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495220358&Mode=0>

　受付開始日時 2023年2月6日0時0分

受付締切日時 2023年3月7日23時59分

**■令和５年１月20日　第90回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和４年度第23回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2023/2/3**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30584.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３２８報）　2023/2/14**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30925.html>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３２７報）　2023/2/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30677.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　　※ 基準値超過　７件

　　　No. 44 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 160 Bq / kg )　 桑折町

　　　No. 45 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 490 Bq / kg )　 福島市

　　　No. 46 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 220 Bq / kg )　 須賀川市

　　 No. 50 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 580 Bq / kg )　 福島市

　　 No. 51 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 180 Bq / kg )　 福島市

　　 No. 52 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 120 Bq / kg )　 いわき市

　　 No. 53 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 540 Bq / kg )　 福島市

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.4/ 2023（2023.2.15）　2023/2/15**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202304m.pdf>

**目次**

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. 牛ひき肉に関連して発生した大腸菌 O157:H7 感染アウトブレイク（2022 年 10 月 28日付最終更新）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 国外旅行に関連していないサイクロスポラ感染に関する調査（2022 年 10 月 14 日付最終更新）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. エキノコックス症 ― 2018 年次疫学報告書

2. 欧州連合／欧州経済領域（EU/EEA）の抗菌剤耐性 ― 欧州抗菌剤耐性サーベイランスネットワーク（EARS-Net）の 2020 年次疫学報告書

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 食品安全の推進：「ONE – Health, Environment & Society – Conference 2022」会議からの戦略的提言

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. 「BMMF（Bovine Meat and Milk Factors）」に関する新しい知見

**【ProMED-mail】**

1．コレラ、下痢、赤痢最新情報（04）（03）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.4/ 2023（2023.2/14）　2023/2/15**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202304c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【ECHA】 ECHA が PFAS 規制案を公表する**

欧州 5 ヵ国（デンマーク、ドイツ、オランダ、ノルウェー、スウェーデン）から、パー及びポリフルオロアルキル化合物（PFAS）に分類される全ての化合物の生産と使用を制限するという規制案が、欧州化学品庁（ECHA）へ提出された。今後、ECHA のリスク評価（RAC）及び社会経済分析（SEAC）の科学委員会が REACH 規則を踏まえて検討し、パブリックコメントを経た後に、立法案が欧州委員会（EC）へ提出される予定である。

＊ポイント： この規制案の最大のポイントは、約 1 万種に及ぶ全ての PFAS が対象になっている点でしょう。PFAS は多種多様な用途に使用されているため、どこまで対象範囲とするかは検討されると思いますが、それでも他に例を見ないほど広範に大きな影響が生じることが予想されます。そのため今後の動向に注目しておく必要があるでしょう。現時点では、2025 年に制定し、適用については用途に応じて最長 12 年間の移行期間を設けることが提案されています。

**【FDA】 FDA は CBD とダイエタリーサプリメントに関連する 3 件の市民請願への回**

**答を発表**

米国食品医薬品局（FDA）は、業界団体から提出された、カンナビジオール（CBD）製品をダイエタリーサプリメントとして販売できるようにする規制の検討を求めた 3 件の市民請願を退ける決定をした。入手可能な科学的根拠をもとに慎重にレビューした結果、ダイエタリーサプリメントに関する現行規制が CBD 製品に適していない上、適切な安全基準を満たすことを示す根拠はなく明白でないことを理由としている。ただし CBD 製品を利用したいという消費者の要望があることを受け、CBD 製品のための新たな規制の枠組みが必要であり、その検討のための協力は惜しまないとの声明も発表した。

＊ポイント： 米国 FDA はこれまでも CBD 製品の個々の製造・販売業者に対して警告文書を発送するなどの対応を行ってきましたが、今回の声明で、ダイエタリーサプリメントとしての販売を認めないという意思を明確にしたので、今後は大々的に監視されるのではないかと予想します。

**【FDA】 FDA は統一した予防及び対応活動を強化するため、ヒト用食品プログラムの**

**再構築を提案する**

米国 FDA は、ヒト用食品プログラム（Human Foods Program）という新しいビジョンを発表した。この組織改革は、食品安全・応用栄養センター（CFSAN）、食品政策・対応局（OFPR）、及び規制局（ORA）の一部の機能を統合し、FDA 長官直属の一人のリーダーを配置して権限を持たせた上で、系統だった組織運営を目指している。また、栄養上級センター（Center for Excellence in Nutrition）、州や地方の規制当局と行う業務の調整を担当する統合食品安全システムパートナーシップオフィス（Office of Integrated Food Safety System Partnerships）などを新設する。動物用医薬品センター（CVM）は引き続き独立させ、ヒト用食品プログラムと並列組織とする計画である

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品に生える「かび」の基礎知識と「かび毒」のリスク評価〔令和4年度食品安全モニターセミナーより〕**

<https://www.youtube.com/watch?v=rn526sLd5lA>

　　かびには、醸造などに利用される有益なものがある一方、健康を害する天然の毒素「かび毒」を産生するかびもあります。この「かび毒」は現在、世界的にリスク管理が進んでいますが、家庭での「かび」や「かび毒」については十分な情報提供が行われていませんでした。そこで、内閣府食品安全委員会にて毒性の専門家である浅野委員が、

1. 「かび」の基礎知識

2. 「かび毒」の評価事例・デオキシニバレノール（DON）

3. 食品安全委員会の「かび毒」の評価

4. 家庭で注意できること

について、分かりやすく解説しています。

※類似の資料はこちら↓からダウンロードできます。

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMa>...

**■食品安全セミナー（健康食品）開催のお知らせ（令和５年３月１０日）　2023/2/9**

<https://www.fsc.go.jp/koukan/annai/annai20230310.html>

**食品安全セミナー（オンライン）を開催します**

**「テーマ：健康食品による健康被害を防ぐために」−　３月１０日(金)１４時開催　−**

**◆　「無承認無許可医薬品」がダイエット用ゼリーとして販売され健康被害が生じています。食品安全委員会は2015年、『いわゆる「健康食品」に関する19のメッセージ』を取りまとめましたが、今回の事案は、まさにその中でお伝えしていた（６）「健康食品」として販売されている「無承認無許可医薬品」に注意してください、（14）ダイエットや筋力増強効果を期待させる食品には、特に注意してください、に該当します。**

**◆　SNSでの広告や個人輸入・販売など、健康食品を取り巻く環境は変化しましたが、7年前に発出したメッセージはどれも、その重要性に変わりはなく、改めて広く国民の皆様に意識していただきたいものばかりです。**

**◆　食品安全委員会の脇昌子委員が当時、ワーキンググループ座長として19のメッセージを取りまとめました。そこで、脇委員が、近年の健康被害や事件の状況も踏まえ、健康食品による健康被害を未然に防ぐためのポイントを情報提供し、皆様から事前にお寄せいただいた質問を中心に回答します。**

**１．開催日時：令和５年３月10日(金)１４時００分から１６時００分（予定）**

**２．開催形態：Ｗｅｂ会議システム（Ｗｅｂｅｘ）**

**３．対象者 ：どなたでもご参加可能です**

**４．参加可能人数：３００名（先着順）**

**５．開催内容：**

**（１）話題提供（６０分）**

**「健康食品」との付き合い方〜いわゆる「健康食品」に関する19のメッセージ〜**

**食品安全委員会委員　脇　昌子**

**（２）質疑応答（６０分）回答者 ：食品安全委員会委員　脇　昌子**

**ファシリテーター：食品安全委員会事務局　リスクコミュニケーション官　藤田　佳代**

**司会：食品安全委員会事務局　情報・勧告広報課長　浜谷　直史**

**６．参加申込み要領**

**（１）本セミナーはＷｅｂ会議システム「ｗｅｂｅｘ」により行います。**

**下記の申込フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みください。**

**（２）質疑応答は、事前質問を受け付けます(２月22日まで)。**

**時間に限りがありますので、全ての質問にお答えできない場合があります。**

**特に健康被害の実態、国としての対策等リスク管理に関する質問にはお答えできませんのでご注意ください。**

**（３）参加者には、セミナー（オンライン）のＵＲＬを前日１６時までに送付いたします。**

**（４）その他**

**・インターネット通信料は、参加者のご負担となります。**

**・パソコン、タブレット、スマートフォンなどでの参加が可能ですが、安定した通信環境を推奨します。**

**・通信環境により、動作に支障が出る場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

**・お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、ご本人への連絡を行う場合に限り利用させていただきます。**

**７．参加申込み**

**参加申込フォーム（**<https://form.cao.go.jp/shokuhin2/opinion-0116.html>**）から、**

**事前質問のある方は令和５年２月22日(水)１４時までにご登録をお願いします（事前質問はそこで締め切ります）。**

**参加登録は３月７日(火)１４時まで受け付けます。**

**（参考資料）**

**「健康食品」に関する情報**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.html>

**「健康食品」に関するメッセージ**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.data/kenkosyokuhin_message.pdf>

**「健康食品」に関する情報（Q&A）**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.data/kenkosyokuhin_datakenkosyokuhin_QA.pdf>

**「健康食品」に関する報告書**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.data/kenkosyokuhin_houkoku.pdf>

**■***NEW***食品安全委員会（第890回）の開催について　2023/2/16**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年2月21日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

（１）農薬第二専門調査会における審議結果について

　　　・「ジメスルファゼット」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（２）農薬第五専門調査会における審議結果について

　　　・「ジクロロメゾチアズ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（３）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　　　・農薬「ジメトモルフ」に係る食品健康影響評価について

（４）令和４年度食品健康影響評価技術研究課題の中間評価結果及び令和５年度食品健康影響評価技術研究新規課題の事前評価結果（案）について

（５）その他

４．動画視聴について

：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、2月20日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、2月21日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年12月24日から令和5年1月27日）2023/1/13**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=12&from_day=24&to=struct&to_year=2023&to_month=1&to_day=27&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***千葉県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内75例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/2/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230215.html>

　　千葉県横芝光町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内75例目）について動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）千葉県横芝光町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内75例目、2月10日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***茨城県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内76例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/2/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230215_1.html>

　　茨城県坂東市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内76例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）茨城県坂東市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内76例目、2月10日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***茨城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/2/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230210_5.html>

　　本日（2月10日（金曜日））、茨城県坂東市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内76例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：茨城県坂東市

飼養状況：約115万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（2月9日（木曜日））、茨城県は、同県坂東市の農場から、家きんの異状がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（2月10日（金曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***新潟県村上市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内55例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230210_4.html>

　　新潟県は、同県村上市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内55例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月10日（金曜日）午前0時（2月9日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）新潟県は、令和5年1月6日に同県村上市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内55例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）新潟県は、令和5年2月4日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、新潟県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月19日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月10日（金曜日）午前0時（2月9日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■香港向け家きん由来製品の輸出再開について（愛知県、福島県、山形県、香川県、沖縄県、岡山県及び長崎県）　2023/2/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230206.html>

　　本日より、愛知県、福島県、山形県、香川県、沖縄県、岡山県及び長崎県からの香港向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします。

概要

令和4年10月28日に高病原性鳥インフルエンザの今シーズン国内一例目が発生して以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港当局からは、非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、発生県からの輸出再開について協議を行ってきたところ、今般、香港当局との間で、高病原性鳥インフルエンザに関する清浄性が認められた愛知県、福島県、山形県、香川県、沖縄県、岡山県及び長崎県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

引き続き、他の発生県からの輸出再開について、香港当局との協議を行ってまいります。

＜2022年1-12月の輸出額＞

香港向け鶏肉：18億円（鶏肉の総輸出額20億円）

香港向け鶏卵：79億円（鶏卵の総輸出額85億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜これまでの経過＞

令和4年10月28日：岡山県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年11月1日：香川県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年11月29日：福島県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年12月5日：愛知県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年12月8日：山形県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年12月16日：沖縄県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年12月22日：長崎県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

参考

香港向けの家きん由来製品停止状況については、以下のページよりご確認いただけます。

URL：<https://www.maff.go.jp/aqs/hou/pdf/exkakin3-6.pdf>　（PDF：91KB)

お問合せ先

消費・安全局動物衛生課　担当者：沖田、木村

代表：03-3502-8111（内線4584）ダイヤルイン：03-3502-8295

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***マクセル株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について　2023/2/14**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/032143/>

　消費者庁は、本日、マクセル株式会社に対し、同社が吸収合併する前のマクセル株式会社が供給していた「オゾン除菌消臭器 オゾネオ エアロ MXAP-AE270」と称する商品に係る表示について、景品表示法第8条第1項の規定に基づき、課徴金納付命令を発出しました。

公表資料

マクセル株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について[PDF:4.1 MB]

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_230214_1.pdf>

**■第9回消費者法の現状を検証し将来の在り方を考える有識者懇談会(2023年1月12日)議事録**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_system/meeting_materials/review_meeting_004/031685.html>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★アントレックス「洗濯用洗剤等：THE LAUNDRESS製品」 - 返金／回収　バクテリアが検出されたため　2023/2/16**

**★キャリエールヒデトワ「エトワール」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2023/2/16**

**★やます「精米（曽利房の駅で精米されたお米）」 - 返金／回収　プラスチック片の混入の可能性があるため　2023/2/16**

**★オールハーツ・カンパニー「フィナンシェ、マドレーヌ」 - 返金／回収　原材料、アレルギー表示の欠落　2023/2/16**

**★松井永淑「いかキムチ」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、いか、大豆」、添加物の表示欠落　2023/2/16**

**★ホワイトフーズ「小判揚げ」 - 返金／回収　消費期限の表示欠落（本来の消費期限：2023.2.14）　2023/2/15**

**★バロー（領下店）「三重県産 生しらす」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：賞味期限23.2.17、保存温度-10℃以下、正：消費期限23.2.10、保存温度10℃以下）　2023/2/14**

**★パル「salut!：ローズティーポット、ほか3商品」 - 返金　「電子レンジ、食器洗浄機・乾燥機使用不可」のところ「電子レンジ、食器洗浄機・乾燥機使用可」の誤表記があることが判明　2023/2/14**

**★ベルク「くらしにベルク「THEピザクラスト」」 - 返金／回収　カビが発生している可能性のあることが判明　2023/2/14**

**★ジェイアール東海高島屋「チョコレート類：限定スペシャルボックス・アムールセレクションF」 - 返金／回収　賞味期限内にカビ発生の可能性があるため　2023/2/14**

**★ヒサダヤ「豚足炭火焼」 - 交換／回収　賞味期限の誤表示（誤：23.4.16、正：23.3.2）　2023/2/14**

**★宮島醤油「ロイヤルホスト：カシミールビーフカレー」 - 交換／回収　「黒豚カレー」に「カシミールビーフカレー」の化粧箱が使用されたため（アレルゲン「乳成分・ごま・豚肉・りんご」の表示欠落）　2023/2/13**

**★ライフコーポレーション（南台店）「広島県産生かき（加熱用）」 - 返金　「青森県産ベビーほたて（解凍・生食用）」のラベルを貼付したため、「加熱用」の表示が欠落　2023/2/13**

**★カネイシフーズ「あたりめ燻」 - 返金／回収　一部の製品からカビが確認されたため　2023/2/13**

**★武蔵野ホールディングス「香味野菜香る 背脂入り みそラーメン」 - 回収　アレルゲン「豚肉」の表示欠落　2023/2/13**

**★ハッピーポケット「情熱価格マロンケーキ」 - 返金／回収　一部の商品にカビの発生が認められたため　2023/2/13**

**★カスミ（フードスクエア我孫子寿店）「ざくろ酢」 - 返金／回収　要冷蔵10℃以下の商品を誤って常温で販売したため　2023/2/13**

**★末廣（いわて銀河プラザ）「ティラミス ブッセ、はんぐ はんぐ」 - 返金／回収　保存方法の誤表示（誤：要冷蔵（10度以下）にて保存、正：冷凍庫にて（-20度以下）にて保存）　2023/2/10**

**★企業組合氷上つたの会「炊き込みご飯の素（赤飯の素）」 - 回収　要冷蔵食品を常温で流通させたため、耐熱性菌等の増殖により健康被害を引き起こす可能性があるため　2023/2/10**

**★徳岡「発泡性ぶどう酒：ヴーヴ アンジュリー ブリュット」 - 返金／回収　軟性プラスチック片の混入が確認されたため　2023/2/9**

**★太田屋製菓「おさんぽわたがし」 - 返金／回収　金属片が混入　2023/2/9**

**★阪和興業「尾付きむき伸ばし海老L（ブラックタイガー）」 - 回収　スルファメトキサゾール（合成抗菌剤）が微量に残留している可能性があるため　2023/2/9**

**★のぐふぁーむ「分離液状ドレッシング：のぐッシング」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2023/2/9**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■次のとおり食中毒（疑い）が発生したので発表します。　2023/2/12　福岡県行橋市**

**調査中**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20230212.html>

　１　事件の探知

　　令和５年２月１０日（金）、行橋市の住民から、同市内の飲食店を利用したところ、食中毒様症状を呈した旨、京築保健福祉環境事務所に連絡があった。

２　概要

　京築保健福祉環境事務所が調査したところ、２月１日（水）午後９時頃に同飲食店を友人５名で利用し、うち２名が腹痛、下痢、発熱等の症状を呈していることが判明した。

　現在、同事務所において、食中毒及び感染症の両面から調査を進めている。

３　発生日時　調査中　判明分：令和５年２月３日（金）午後５時頃

４　摂食者数　調査中　判明分：３名

５　症状　調査中　判明分：腹痛、下痢等

　６　有症者数　調査中　判明分：２名（２０代男性）

２名のうち１名が医療機関を受診しているが、入院はしていない。

また、重篤な症状は呈した者はいない。

７　原因施設、原因食品、病因物質　調査中

８　検査　福岡県保健環境研究所で有症者及び従事者の便等を検査予定

９　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（２月９日現在。調査中の事件を除く。）

テーブル

自動的に生成された説明

**★ウイルスによる食中毒★**

**■園児など281人食中毒　原因は福岡市の飲食店が製造した弁当**

**2/14(火) 17:34配信　FBS福岡放送****福岡県福岡市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/982e27814e61b6e93bcb0688070055ca73fe878c>

**福岡市内4カ所の幼稚園で食中毒の疑い　園児5人ノロウイルス陽性**

**2/11(土) 0:26配信　RKB毎日放送****福岡県福岡市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/71b98eb30ef7e626b4645998c7fdfc69cf400ce8>

**食中毒の発生について（第２報）（令和５年２月 14 日 午後 3 時 00 分現在）　福岡県福岡市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/2785/1/230214shokuchudokunohasseinituitedainiho.pdf?20230215113354>

１ 探知

令和５年２月８日（水）、南区の幼稚園から南区保健福祉センターへ「２月７日（火）から園児及び職員複数名が自宅で嘔吐、下痢の食中毒様症状を呈している」旨の連絡があったもの。

２ 概要

博多区内の施設が製造した弁当を令和５年２月３日（金）、6 日（月）、7 日（火）、8 日（水）及び９日（木）に喫食した福岡県と佐賀県の幼稚園及び保育園の園児及び職員の計 281 名が、令和５年２月５日（日）から嘔吐、下痢等の食中毒様症状を呈したもの。

調査の結果、博多区保健福祉センター（博多保健所）は、当該施設が製造した弁当を原因とするノロウイルス食中毒と断定し、営業禁止処分とした。

３ 症状　嘔吐、下痢、発熱等

４ 有症者・・・・調査中 　判明分 25 園 281 名（園児及び職員）

（内訳）幼稚園 21 園 266 名 　保育園 4 園 15 名

５ 検査（福岡市保健環境研究所で検査）

有症者検便（９検体）・・・ 9 検体からノロウイルス検出

従事者検便（22 検体）・・・ ６検体からノロウイルス検出

６ 原因施設

（１）営業所所在地 福岡市博多区

（３）屋 号 レモン株式会社

（４）業 種 飲食店営業

７ 原因食品

当該施設が令和５年２月３日（金）、6 日（月）、7 日（火）、8 日（水）及び９日（木）に製造した弁当



８ 原因施設に対する指導事項

（１）調理器具の消毒及び食材等の廃棄を行うこと。

（２）手洗い設備を改善すること。

（３）調理従事者等の手洗い方法、トイレの清掃・消毒方法等を再度確認すること。

（４）ノロウイルスが検出された従事者は、陰性確認が終わるまで調理作業に従事しないこと。

（５）調理工程や調理手順の見直しを図ること。

（６）HACCP に沿った衛生管理を実施すること。

（７）上記について従業員教育を実施すること。

９ 措置処分

博多区保健福祉センター（博多保健所）は、以下の理由により、当該施設が製造した弁当が　原因のノロウイルス食中毒と断定し、2 月 14 日（火）から営業禁止処分とした。

（１） 当該施設が令和５年２月３日（金）、6 日（月）、7 日（火）、8 日（水）及び９日（木）に製造し、複数の施設に納品した弁当を喫食した 281 名が、下痢、嘔吐、発熱等の食中毒様症状を呈したこと。

（２）有症者の発症状況が一峰性を示していること。

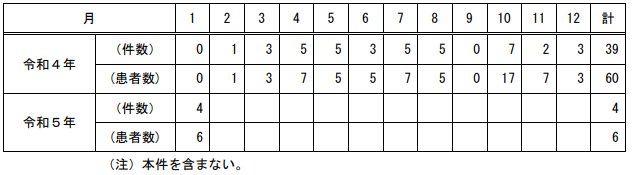
（３）有症者 281 名の共通食は当該施設で製造された弁当のみであること。

（４）有症者９名からノロウイルスが検出されたこと。

（５）有症者の症状及び潜伏期間がノロウイルスによる食中毒と一致していること。

（６）当該施設の従事者等 6 名からノロウイルスが検出されたこと。

〈参考〉福岡市における令和４年及び令和５年食中毒発生状況



**食中毒（疑い）の発生について**

**（令和５年２月 10 日 午後６時 30 分現在****福岡県福岡市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/2785/1/230210shokuchudokuutagainohasseinitsuitedaiippou.pdf?20230210211502>

１ 探知

令和５年２月８日（水）、南区の幼稚園から南区保健福祉センターへ「２月７日から園児及び職員複数名が自宅で嘔吐、下痢の食中毒症状を呈している」旨の連絡があったもの。

２ 概要

本市が調査したところ、博多区内の施設で製造された弁当を令和５年２月３日（金）又は ６日（月）に喫食した４ヵ所の幼稚園において、令和５年２月５日（日）から嘔吐、下痢等の食中毒様症状を呈している者が合計 87 名いることが判明したもの。

現在、本市において食中毒及び感染症の両面から調査を進めている。

３ 製造数

２月３日（金） 1,568 食（14 ヵ所の幼稚園に納品（判明分））

２月６日（月） 2,829 食（26 ヵ所の幼稚園に納品（判明分））

４ 症状　嘔吐、下痢、発熱等

５ 有症者・・・・調査中　判明分 87 名

うち園児 65 名（５名がノロウイルス陽性）、職員 22 名

６ 検査　福岡市保健環境研究所等で有症者便、従業員便、保存食等を検査予定

７ その他

・原因食品を製造したと疑われる施設については、現在、営業を自粛中。

・有症者が判明している園以外について、現在、発症状況等について調査中。

**■ネットで購入した弁当で集団食中毒、西宮市内の業者を営業停止処分に　発症者や調理従事者からノロウイルス検出　2/13(月) 19:39配信　神戸新聞NEXT****兵庫県西宮市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e4b31cfdcf2840e7460be764e68ec79c8974e598>

**食品衛生法違反者等の公表について　2023/2/13　兵庫県西宮市**

**ノロウイルス**

<https://www.nishi.or.jp/kenko/hokenjojoho/shokuhineisei/chishiki/eiseiihan.html>

　行政処分等を受けた年月日 令和5年2月13日

行政処分等の対象となった施設の名称及び所在地

株式会社三心、肉バルM-2

西宮市

行政処分等の対象となった食品等　当該施設が2月3日（金曜）に提供した弁当

行政処分等を行った理由　食品衛生法第6条第3号違反（食中毒の発生）

行政処分等の内容　2月13日（月曜）から2月14日（火曜）までの2日間の営業停止

行政処分等を行った措置状況

・発症者の疫学調査

・発症者及び調理従事者の検便等実施

・原因施設への立ち入り調査及び施設の拭き取り検査

・食品の衛生的な取り扱い及び施設の清掃消毒の指導

**■金沢のすし店で５人食中毒　生がきなど食べ、ノロウイルス検出　2023/2/12　北國新聞　石川県金沢市**

**ノロウイルス**

<https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/986982>

**■日光市の飲食店弁当でノロウイルス発生　24人が食中毒症状　2/13(月) 10:19配信**

**とちぎテレビ　群馬県日光市**

**ノロウイルス**

<https://nordot.app/997027216914300928?c=643662570251043937>

**弁当で２４人食中毒　栃木ノロウイルス検出　2023/2/12 18:22　産経新聞****群馬県日光市**

**ノロウイルス**

<https://www.sankei.com/article/20230212-VXYI6AVMZ5MXHISPQHC74RNIWA/>

**食中毒の発生について　2023/2/13****群馬県日光市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e07/houdou/202302kensai.html>

令和5(2023)年2月8日（水曜日）午前10時頃、県西健康福祉センター(県西保健所)に「2月3日（金曜日）に日光市内の飲食店が調理した弁当を食べた同市内の事業所の複数人が、下痢、嘔吐などの症状を呈し、一部は医療機関を受診している。」との通報があったため、同センターで調査を開始した。

調査の結果、2月3日に当該飲食店が調理し、提供した弁当を喫食した24名が、下痢、発熱、嘔吐等の食中毒症状を呈していることが判明した。

発症者に共通する食事は、2月3日に当該飲食店が調理し、提供した弁当に限られていること、発症者と調理従事者の便からはノロウイルスが検出され、発症者の症状はノロウイルスによるものと一致していること、発症の状況が一峰性で時間的に集積性が認められることから、本日、同センターは当該飲食店が提供した弁当を原因とする食中毒と断定した。

なお、発症者については、いずれも快方に向かっている。

**令和5(2023)年栃木県内の食中毒事例（宇都宮市を除く）2023/2/13　群馬県日光市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e07/life/shokuseikatsu/chuudoku/datar5.html>

　原因物質　ノロウイルス

　原因食品　2月3日(金)に当該飲食店が昼食として提供した弁当

　原因施設　飲食店

　摂食者数　調査中

　患者数　24

**■【長崎】恵方巻食べ３２人がノロウイルス食中毒　西海市の飲食店**

**2/10(金) 21:54配信　長崎国際テレビ　長崎県西海市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9d18b9b84416d38c04bb314236152a4684301004>

**食中毒事件の発生について　2023/2/10****長崎県西海市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.nagasaki.jp/press-contents/596774/index.html>

　　令和5年2月7日(火曜日)午後2時30分頃、西海市にある会社に勤務する従業員の家族から、会社で配付された恵方巻を喫食した家族2名が食中毒を疑う症状で病院を受診し、他の従業員にも複数の有症者が発生している旨の通報が西彼保健所にあり、同保健所が調査を行った。

　　その結果、同保健所は原因施設を西海市にある飲食店と断定し、本日、行政処分を行いましたのでお知らせします。

1.　概要

　西彼保健所による調査の結果、有症者らは、西海市内の同じ会社の職員及び家族で、2月3日(金曜日)に当該飲食店が調理した恵方巻を喫食した48名のうち25名が、2月4日(土曜日)から2月6日(月曜日)にかけて嘔吐、下痢、発熱等を呈していることが判明した。また、同日に当該飲食店が調理した恵方巻を喫食した他の10グループ27名のうち、7名も同様の症状を呈していた。

　　有症者全員の共通食がこの恵方巻以外にないこと、有症者の便からノロウイルスが検出されたこと、発症までの時間と症状がノロウイルス食中毒の特徴と一致することから、同保健所は当該飲食店を原因施設とする食中毒と断定し、以下のとおり行政処分を行った。

2.　原因施設

営業所所在地：西海市

営業所の名称：呑み食い処　味楽家(のみくいどころ　みらい)

営業の種類　：飲食店営業(弁当・一般食堂)

3.　原因食品

令和5年2月3日(金曜日)に当該飲食店が調理した恵方巻

（恵方巻の種類)

太巻(桜でんぶ、玉子、かんぴょう、胡瓜、酢飯、のり)

サラダ巻(レタス、玉子、かに風味かまぼこ、胡瓜、マヨネーズ、酢飯、のり)

焼肉巻(牛肉、焼肉のタレ、酢飯、のり)

海鮮巻(ブリ、タイ、ハガツオ、サーモン、酢飯、のり)

4．病因物質　ノロウイルス

5．処分内容

令和5年2月10日(金曜日)から2月11日(土曜日)まで2日間の営業停止(食品衛生法第6条第3号違反)。なお、当該施設は2月7日(火曜日)から営業を自粛している。

6．症状　嘔吐、下痢、発熱等

7．摂食者数　75名

8．有症者数(令和5年2月10日(金曜日)現在)　32名(5歳から73歳)

4名受診(有症者に入院した患者はおらず、全員が回復に向かっている)

参考：県内の食中毒発生状況(令和5年2月10日(金曜日)現在) (本件含む)

横, 大きい, 地域, ボート が含まれている画像

自動的に生成された説明

**■食中毒の発生による営業の禁止について　最終更新日令和5年2月8日　愛知県岡崎市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.okazaki.lg.jp/houdou/p037725.html>

　　本日、飲食店「魚政支店」（若宮町）を食中毒の原因施設と断定し、この施設に対し営業禁止を命じました。

　　患者は現在、令和5年1月30日（月曜日）から令和5年1月31日（火曜日）の間に当該施設で調理された弁当を摂食した9グループ25人のうち14人で、重症者は確認されておりません。

1　探知

　　　令和5年2月7日（火曜日）11時頃、岡崎市保健所に「先週、当該施設で調理された弁当を食べた複数の者が体調を崩している。」旨の連絡がありました。

2　調査結果

　・　患者の共通食は、令和5年1月30日から令和5年1月31日の間に当該施設で調理された弁当でした。

　　・　患者の症状はノロウイルス食中毒と一致しました。

　　・　患者10人の便からノロウイルスG2が検出されました。

　　・　患者は、当該飲食店において調理された弁当以外に共通食がなく、また、患者の家族等から感染したノロウイルス感染症を疑う事象は確認されていません。

　　・　医師から食中毒の届け出がありました。

　　　これらのことから、当該施設を原因とする食中毒と断定しました。このため、本日（2月8日）付けで営業禁止処分とし、施設の清掃及び消毒の徹底を指導するとともに、食中毒予防に関する教育を行い、被害の拡大と再発の防止に努めます。

　　　なお、当該施設は、本日（2月8日）から営業を自粛しています。

　　患者

　　　発症日時

令和5年1月31日（火曜日）　19時～令和5年2月4日（土曜日）　1時30分

（潜伏期間　平均37時間50分　中央値37時間30分）

症状　下痢、嘔吐（おうと）、腹痛、発熱など

患者数（令和5年2月8日現在）14人：男性8人、女性6人

原因食品　令和5年1月30日から令和5年1月31日の間に調理販売された弁当

メニュー　サバ塩焼、キンピラ、味玉子、ポテト、味ごはんなど

病因物質　ノロウイルスG2

　原因施設

　　　所在地　岡崎市

屋号　魚政支店

営業の種類 飲食店営業、魚介類販売業

措置 営業の禁止（再発防止策が講じられた後に解除）

　検査関係

　　　検便　患者便10件：10件からノロウイルスG2検出

その他　施設ふきとり検体7件：2件からノロウイルスG2検出

3岡崎市食中毒発生状況（本日現在）

テーブル

自動的に生成された説明

**■違反施設に対する行政処分等の情報　2023/2/7　大阪府堺市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/shokuhineisei/anzenjoho/kaishu/gyosei.html>

　発生年月日（公表年月日）　令和5年2月7日（令和5年2月14日）

　違反施設

業種名　飲食店営業

施設の名称　炭火焼鳥　杉の屋

所在地　堺市北区

違反の理由（内容）　食品衛生法第6条第3号違反（食中毒の発生）

措置内容　2月14日　1日間の営業停止

備考

【病因物質】　ノロウイルス

【原因食品】　2月5日に当該施設で調製された食事

【有症者数】　8人

**■食中毒の発生について　令和5年（2023年）2月4日（土曜日）**

**健康福祉局保健部食品保健課　広島県広島市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/houdou/houdou/317450.html>

1　事件の概要

　令和5年2月2日（木曜日）13時頃、市民から「1月28日（土曜日）夜に13名で飲食店を利用したところ、複数の者が体調不良を呈している。」との情報があり、調査を開始した。

　調査の結果、1月28日（土曜日）夜に「海の幸　磯の坊光町店」を利用した1グループ13名のうち5名が、1月30日（月曜日）4時から14時にかけて、嘔吐、腹痛、下痢等を発症していた。

　患者の共通食は、当該施設が提供した食事のみであること、患者便及び従事者便からノロウイルスが検出されたこと及び医療機関から食中毒患者の届出があったことから、広島市保健所は、この施設が提供した食事を原因とする集団食中毒と判断し、2月4日（土曜日）、当該飲食店の営業者に対して、営業の禁止を命令した。

2　患者の状況

1. 患者数　5名：入院なし
2. 主症状　嘔吐、腹痛、下痢等

3　原因施設

1. 施　設　名　　海の幸　磯の坊光町店
2. 営業の種類　　飲食店営業一類
3. 営業所所在地　広島市

4　原因食品　令和5年1月28日（土曜日）夜に提供された食事

3，000円コース：（小鉢（甘エビボイル）、刺身（ヒラマサ、サーモン、タイ）、鶏の陶板焼き、天ぷら（エビ、なす、にんじん、かぼちゃ）、魚の煮付け、茶碗蒸し、菜飯、漬物（浅漬け等））

単品：カワハギの薄造り、ポテトフライ、鶏のから揚げ

5　病因物質　ノロウイルス

6　保健所の対応

1. 患者の発症状況及び喫食状況等の調査
2. 原因施設の立入調査・指導
3. 検体採取（検査機関：広島市衛生研究所）

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

**■食中毒発生状況（福島市内）　2023/1/29　福島県福島市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/hoken-shokuhin-eisei/kenko/iryo/shokuhin-eisei/shokuchudoku/27.html>

　発生年月日　2023/1/29

　摂食者数　不明

　患者数　99　※2月9日現在、調査継続中

　原因食品　1月28日から1月30日に提供された弁当

　病因物質　ノロウイルス

　血清型等　GⅡ

　原因施設　飲食店

**★寄生虫による食中毒★**

**■アニサキス…夫が腹痛、イワシや赤貝の刺し身を食べた数時間後　鮮魚店を処分　一緒に食べた妻は異常なし　2/16(木) 10:17配信　埼玉新聞****埼玉県川越市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/54e768c65bafec8638e1982d2f6e73a8b87ba55a>

**令和5年2月15日食中毒事件の発生について　最終更新日：2023年2月15日**

**埼玉県川越市**

**アニサキス**

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kenkofukushi/shokuhineisei/shokuhinese/shokunoanzen/shokuchudokujiken/shokuchudoku02152.html>

　食中毒事件の発生について

事件の概要

令和5年2月13日月曜日12時30分頃、市内医療機関から川越市保健所に「診察した患者から、内視鏡にてアニサキスを摘出した。」旨の連絡がありました。

川越市保健所では、患者、施設等の調査を行い、原因究明に努めてきました。その結果、2月15日水曜日、食中毒と断定し、当該営業者に対して1日間の営業の一部停止処分を行いました。

患者の状況

喫食者：2名

発症者：1名

症状：腹痛

喫食日時：令和5年2月12日日曜日19時30分

発症日時：令和5年2月13日月曜日3時

原因施設で購入し喫食した食品：刺身（いわし、赤貝）

なお、患者は入院せず、快方に向かっている。

病因物質　アニサキス

原因施設　川越市内の販売店

行政処分

処分決定日：令和5年2月15日水曜日

営業停止期間：令和5年2月15日水曜日の1日間

営業停止の範囲：生食用鮮魚介類（冷凍品を除く。）の加工、販売

なお、冷凍品とはマイナス20℃以下で24時間以上の冷凍をしたものをいう。

原因施設として決定した理由

潜伏期間内に生食した鮮魚介類は、当該施設が加工、販売した刺身に限定されていた。

医療機関による内視鏡検査で、患者の胃からアニサキスが摘出された。

患者の症状及び潜伏期間が、アニサキスによるものと一致していた。

患者を診察した医師から、食中毒患者等届出票が提出された。

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■セシウム基準値超えでスズキを自主回収　福島県漁連の独自基準　安全性が確認されるまで出荷自粛　2023年02月07日 18:42　福島テレビ**

<https://www.fukushima-tv.co.jp/localnews/2023/02/2023020700000012.html>

**★細菌による感染症★**

**■**

**★ウイルスによる感染症★**

**■感染性胃腸炎の集団発生について　2023/2/15　栃木県**

**感染症　ノロウイルス・サポウイルス**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/kansensaiyou/documents/20230215kansenseiichouen.html>

　概　要

感染症名：感染性胃腸炎(5類感染症)【原因病原体：ノロウイルス、サポウイルス】

・集団発生の時期：令和5(2023)年1月26日(初発)

・集団発生の場所：県北健康福祉センター管内の保育所

・発症の状況：令和5(2023)年1月26日～令和5(2023)年2月15日、計55名（園児54名、職員1名）

・経過：

　　　　令和5(2023)年2月10日、県北健康福祉センター管内の保育所から複数の園児及び職員が、嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの連絡があり、同日、同センターで調査及び指導を実施した。

　　　また、2月15日に保健環境センターにおいて4名の検体（便）の検査を実施した結果、2名の検体からノロウイルス、3名の検体からサポウイルスが検出された。重症者はなく、発症者は全員快方に向かっている。

県の対応

　　 県北健康福祉センターでは、当該情報の探知後、当該施設における予防対策（園児及び職員の健康管理、手洗い等の励行、汚物等の適切な処理等の迅速な対応）及び消毒について、指導等を実施するとともに、当該施設における発症者等の調査、原因追及のための感染源の調査を実施した。

栃木県内で報告のあった感染性胃腸炎集団発生（30名以上の患者報告数）状況（宇都宮市を含む）

平成30年 8施設（障害者施設1、小学校2、中学校1、保育所3、幼稚園1）

令和元年10施設（高齢者施設1、障害者施設1、小学校1、学校1、保育所6）

令和2年0施設

令和3年12施設（障害者施設1、保育所7、認定こども園4）

令和4年3施設（保育所2、認定こども園1）

令和5年2施設（保育所1、認定こども園1）※今回発生事例含む

【参考】県健康福祉センター及び宇都宮市保健所の管轄区域

・県西健康福祉センター：鹿沼市、日光市

・県東健康福祉センター：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

・県南健康福祉センター：小山市、上三川町、下野市、野木町、栃木市、壬生町

・県北健康福祉センター：大田原市、那須町、那須塩原市、矢板市、塩谷町、さくら市、高根沢町、那須烏山市、那珂川町

・安足健康福祉センター：足利市、佐野市

・宇都宮市保健所：宇都宮市

　関連資料

県民の皆様へ（感染性胃腸炎について）（PDF：82KB）

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/kansensaiyou/documents/documents/norosaporota.pdf>

**■感染性胃腸炎　３年ぶり集団感染　手洗い徹底など呼びかけ**

**02月08日　18時24分　山口 NEWS WEB　山口県柳井市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/yamaguchi/20230208/4060016150.html>

**■北茨城のこども園で集団胃腸炎　園児ら60人　2/9(木) 21:05配信　茨城新聞クロスアイ**

**茨城県北茨城市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5942471db2436cea3915c78022ef06b557e03e9c>

**■感染性胃腸炎の集団発生について　2023/2/7　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/13366/1/0207noro.pdf?20230210162459>

　　博多区内の保育施設で、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 博多区内の保育施設

（１）経緯

１月２４日（火） ８名の園児に嘔吐、下痢、発熱の症状が出現した。

当該施設より、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

以後、複数の園児及び職員に嘔吐、下痢、発熱、腹痛の症状が出現。

２月 ２日（木） 当該施設より、新たな有症状者が発生していると報告があった。

　　　博多保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

２月 ３日（金） 博多保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を再度指導した。

２月 ７日（火） 博多保健所が有症状者の発生状況を確認するとともに、感染拡大防止等を改めて指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

テーブル

自動的に生成された説明

テーブル

自動的に生成された説明

（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱、腹痛 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■生食用かきの回収を命令しました　2023/2/15　岡山県**

**E.coli 最確数基準値 230／100g 以下のところ、490／100g**<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/339878.pdf>

　　備前保健所において、令和５年２月１３日に次の加工者が加工した生食用かきを収去検査したところ、食品衛生法の成分規格の基準値を超える E.coli（大腸菌）が検出されました。

直ちに、備前保健所が加工施設への調査及び指導を行うとともに、同一ロット品の回収を命じたのでお知らせします。

なお、これまでのところ、当該かきを食べたことによる健康被害の情報はありません。

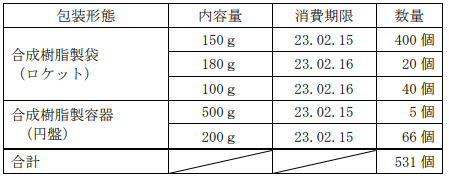
記

１ 加 工 者 邑久町漁業協同組合　岡山県瀬戸内市

２ 回収対象品 名 称 生かき（生食用）

採 取 海 域 岡山県虫明海域

出 荷 先 岡山県、三重県



　３ 検査結果 生食用かき成分規格違反（食品衛生法第 13 条第２項）

E.coli 最確数基準値 230／100g 以下のところ、490／100g

○E.coli（大腸菌）は、かき等の食品の汚染を推測する指標菌とされています。

○最確数とは、食品に存在する統計的な確率に基づく菌数です。

**■ゆで卵に消毒剤使用、社名変更・体制刷新で再出発「誠意もって営業します」**

**2023/02/12 13:54　読売新聞オンライン****佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20230212-OYT1T50051/>

**■ゴボウ産地偽装　出水の青果業者、破産開始決定　中国産を「青森県産」「宮崎県産」と表示**

**2023/02/10 09:02　南日本新聞　佐藤先生からいただいた情報です**

**■外国産の馬刺しを「熊本産」と表示　「焼肉ヌルボン」が謝罪**

**2/10(金) 0:14配信　朝日新聞デジタル****佐藤先生からいただいた情報です**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e1c03899438454834e9714c341b2e6bdcaad8597>

**■外国産アサリを熊本産に偽装　容疑で荒尾の業者を逮捕　28億円売り上げか　福岡県警**

**2/6(月) 8:19配信　西日本新聞社　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0a4918e2942a3937af8421fcee430508bd5bf5aa>

**■ゆで卵に指定外添加物使用　岩手エッグデリカと元会長　略式起訴＜岩手・八幡平市＞**

**岩手めんこいテレビ　2023年1月31日 火曜 午後6:51　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www.fnn.jp/articles/-/479166>

**★その他関連ニュース★**

**■4種類の抗ウイルス薬にXBB.1.5増殖抑制効果 - 国立国際医療研究センターが研究成果発表**

**2/15(水) 17:10配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a51339d4bfaaac002e09e9a701d21ce524dd4daf>

**■東京のインフル患者数が横ばい、ピーク迎えたか - 13保健所管内で前週の報告数を下回る**

**2/15(水) 15:00配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/abb2ef25f93b9f933e3a077c795f254cf250942c>

**■医療機関受診時はマスク着用を推奨 - 東京都が都民への呼びかけ案を提示**

**2/14(火) 20:47配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/456c84b5f5185bb137ad7e91c9bad862fd8fd2ed>

**■【感染症情報】インフルエンザが10週連続で増加 - RSウイルス感染症は3週連続増**

**2/14(火) 12:45配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/49051aa6bc7889b97e4152bbb4620f1aeb470e13>

**■BCGと水痘ワクチン接種の計3件を認定 - 厚労省が疾病・障害認定審査会分科会審議結果公表**

**2/13(月) 11:45配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2d5a50ff54110de97537c3896ae69ed716358206>

**■インフル患者前週比1.2倍、2県で警報レベル - 厚労省が第5週の発生状況を公表**

**2/10(金) 15:20配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b009b1cdcffeb80f3a6608cdf5e8193024e952c7>

**■新型コロナワクチン接種の66件を認定 - 厚労省が健康被害審査第二部会の審議結果公表**

**2/10(金) 13:45配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fc125af11cb811161bed1fb948cdfc4f16edd221>